

**高知
県労連**

No. 125
発行：高知県労連書記局
住所：高知市丸ノ内2-1-10
〒780-0850 高知城ホール3階
[TEL]088-872-3406
[FAX]088-822-7969
ホームページもご覧下さい。

雇用対策と公契約の見直しを求め

—高知県へ申し入れ—



十月十八日(月)、高知県労連は、県に対し『雇用の緊急改善と入札制度の見直し等に関する申し入れ』を行いました。県労連加盟組織からは十六名が参加し、県側は雇用労働政策課長など九名が対応しました。話し合いでは、一、若者雇用等の改善、二、高齢者雇用の改善、三、働く場の確保、四、官製ワーキングプアの解消、公契約条例の制定を求めました。

昨年高知県が取り組んだ高卒の未就職者対策では七名が就職するなどの成果も出ています。また就職アドバイザー九名に加え、ジョブサポーターを七名から十三名に増員するなど県としても力を入れて

います。

県労連としてそれらの取り組みを評価するとともに、ワンストップサービスの拠点として『総合就業支援拠点』の整備を強く働き掛けました。

また、緊急雇用対策では若者、中高年の雇用ごとに雇用創出状況を把握し、二〇一二年以降も充実して継続することを求めると同時に、国にも働きかけることを求めました。

公契約条例の制定問題では昨年九月の野田市での条例制定を受け、全国でも制定へ向けた動きが出ており、高知市でも公契約条例の制定も視野に入れた入札制度・契約制度のあり方の議論が始まっています。これらの動きを受け、県としても前向きに検討することを求めました。

しかし県としては、受注先とそこで雇われている労働者とは民間と民間の契約であり、行政が労働者の賃金などを指定するのは介入にあたるとの従来答弁に終始しました。ただし、最低制限価格の引き上げを二回行い、低入札審査も厳しく行うなど、現行制度の見直しは行っていると答えました。

その結果、入札率はこの間引き上げられたとしながら、それが労働者の賃金引き上げにつながっているかどうかについては把握していないと答えました。また、それを把握するために賃金の実際の支払い状況を報告させることについては、「違法性はない」としながら、消極的に答弁を繰り返しました。

県労連としては、この問題を重視し国民大運動の副知事交渉で更に詰めて話し合いを行っていく予定にしています。

針路

年収二〇〇万円以下のワーキングプア一〇九九万人。生活保護の受給者一〇九万人。いずれも記録更新中▲木津川計氏は『人生としての川柳』で、人の世の森羅万象を対象としているはずの川柳に「なぜ貧しさが詠まれないのか」と問いかげ、少ない句の中で次の作品などを紹介している。「貧乏に産まれ何食うてもうまい」「友だちがみな貧乏でありがたい」「時は半額シール貼るを待つ」「貧乏は恥ではないと恥じながら」。貧困の諸相は様々。なるほど句作が「貧しい」

▲税金逃れのために、毎年一月一日には住所をアメリカに移していたという噂の竹中平蔵氏。構造改革路線で格差と貧困を拡大し、二〇〇九年の選挙で自民党が政権の座を追われると「構造改革の不徹底」を敗北の弁とした。当時は「負け犬の遠吠え」と思えたが、今や構造改革の「復権」の様相▲「ジュンちゃんと呼んだ自分が恥ずかしい」「痛み」に踊らされた人々たちへの警句だ。県労連機関紙の川柳コーナーを貧困告発の場に鳴らしたい。「『改革』の荒野を億者駆けめぐる」(田)

ついに 和解！ JR採用差別事件 二十三年の闘い

十月八日「JR採用差別事件」和解報告集会在、県労連、建交労高知県本部、同高知鉄道地方本部主催で開催され、会場の高知城ホール四階には一〇〇名近い人たちが集まりました。



主催者あいさつで、西山県労連委員長は二十三年間の闘いの労をねぎらい、雇用問題の最終的な解決への取り組みの強化を訴えました。続いて、建交労元委員長・坂田晋作さんが「国鉄闘争と労働組合のありか方」と題して講演を行いました。坂田さんは「国鉄闘争の総括をする場合、①争議という側面、②労働運動という二つの側面で捕らえることが必要と指摘。争議の側面で言えば、雇用問題は残っているが、いづれ四者四団体も任務が終えれば解散する。今後重要なのは

労働運動としての側面。国鉄分割民営化の歴史的な本質を捉えながら、国民の足、安全輸送の確立の取り組みを進めることが重要。赤字の四国を含むJR三島、貨物会社の大リストラが狙われている。JALの次はJRといわれている

る。二十三年間の教訓を踏まえて国民的な共同の再構築をめざす時である。」と訴えました。続いて全動労争議団の戸嶋さんがお礼の報告を行いました。「家族には3年我慢してくれと闘争を始めた。それが一年、また一年とのびてとうとう二十三年になった。この長期の闘いが出来たのは、全労連が「労働組合再生の環」と位置づけ、全国の皆さんの支援があったからです」と感謝の言葉を述べました。

『くらしと医療を守る 全県キャラバン』 スタート



本山町での申し入れの様子

十月十九日（火）、『くらしと医療を守る全県キャラバン』が、本山町と香美市の2コースでスタートしました。十一月二日の高知県まで全市町村への申し入れを行います。

本山町のコースへは、高知県労連を含めた五名と、本山町職労書記長が参加しました。キャラバンのメインである『各自治体から貧困をなくす』という視点で、まずは市町村の立ち位置や施策を明らか

にし、国民健康保険、生活保護、介護保険などについて改善に向けた要請を行いました。今西町長は、「申入れ書を読ませていただいた。貧困という視点でもう一度町政を見直して行きたい」「福祉の充実などとともに農林業、またその加工など産業振興を同時に進めて行きたい」と語りました。

国保の保険料、窓口負担の減免問題では、非自発的失業者への国の措置（前年度の年収を三十%とみなす。入院負担の市町村軽減分の半分を国が負担）の周知と実施を求めると同時に、それ以外の住民への制度の拡大と適用を強く求めました。

滞納整理機構問題では、住民の生活支援、生活再建を基本に置き、担当職員も生活保護等の他の制度についても基礎的な知識を身につけ、行政としての総合力を発揮して対応するよう求めました。

各自治体で「東京の派遣切りのような形ではないが、行政が受け止めなければならぬ貧困はあると思う。貧困という視点での行政の見直しは必要だと思う」と共感が広がっています。

労働相談センター総会

一〇月六日(水)、高知城ホール(高知市丸ノ内)で、高知県労連・こうち労働相談センター二〇一〇年度総会を開催しました。総会には、高知県労連・こうち労働相談センターオールド役員、高知県労連加盟組織からの代表者ら二十七人が出席しました。



総会では、榎原正彦事務局長が〇九年度運動・活動の総括と、一〇年度運動・活動方針(案)について報告・提案しました。一〇年度運動・活動方針(案)では、労働相談センターが未組織労働者の組織化にむけた最前線の砦として、その役割を果たしていくことなどを確認。そのために、問題解決型から、組織作り型、「一人から組織へ」を基調とした向こう一年間の方針(案)を提起しました。総会で報告、提案された運動・活動方針(案)、財政(決算・予算)については全会一致で採択されました。

労働相談センター長・前田研、副センター長・宮本尚、田口朝光、事務局長・榎原正彦の各氏を再任しました。

建交労農林支部 じん肺キャラバン



10月6日(水)、建交労農林支部が『なくせ じん肺全国キャラバン』の一環として、労働局へ要請を行いました。要請では、アスベスト使用建物の処理の実態調査と粉じん曝露防止の徹底などを求めました。

年金一揆



10月15日(金)、全国1万人総行動「年金者一揆2010」に呼応して、年金者組合高知県本部が、①県中央部周辺「街頭宣伝」行動、②個人「要求書」提出行動～1人1筆行動、③「後期高齢者医療制度の即時廃止」高知市・市役所前昼休み集会・年金一揆報告の3つの行動を実施しました。

高齢者医療制度 廃止求め



10月15日(金)、市役所前で『後期高齢者医療制度の廃止を求める高知県集会』が開かれました。80名が参加し、年金者組合や家族の介護を行っている方から、報告が行われました。

九月、県労連・こうち労働相談センターには、二十三人(女性十人、男性十三人)の人たちから相談が寄せられました。雇用形態は、正規雇用十人、パート・アルバイト二人、有期契約雇用五人、不明六人。事業規模は、三〇人未満十二人、三十一人～一〇〇人未満三人、一〇〇人以上二人、不明六人。相談ルートは、電話帳四人、紹介十三人、FAX一人、不明五人。相談内容では、解雇・退職強要五人、賃金・不払い残業三人、社会・雇用保険二人、賃金・労働時間八人、パワハラ一人、就職一人、その他三人でした。九月の労働相談を通じて初めて外国人労働者(四人)が組合加入をしました。相談内容や組合加入の経過などについて紹介します。この

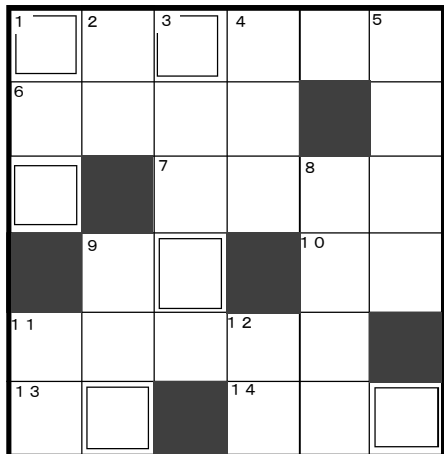
榎やん奮戦記⑬

四人(男性・青年)の出身国はインドネシア(バリ島出身)です。就労ビザで入国し、高知市の飲食店で働いています。同じ集合住宅で共同生活をしています。賃金体系は月給(固定給)制で高校新卒者弱の賃金水準です。主な相談内容は、雇用者から全額の賃金が支払われず家賃や光水熱費、入国手続き費用などが一方的に天引きされ手取り額が半額以下となっているというものです。さながら今、日本で社会問題化をしている貧困ビジネスの被害にあったような印象です。外国人労働者といえども日本で働けば当然として国内法が適用されます。つまり国内法である労働基準法が適用されますので雇用主が同法第二十四条(賃金の総額支払)に違反する違法行為を犯

していることとなります。四人の労働者が不満や疑問を抱くのは当然のことです。県労連・こうち労働相談センターは、中小・零細業者の健全経営を守る立場ですが、違法行為を見す越すわけにはいきません。

四人は高知で働くことを強く希望し、きちんとした賃金支払いを求めるために立ち上がり高知一般労組に加入して声を上げて要求実現のため団体交渉などで問題解決をめざしています。慣れない日本・高知で不安がいっぱいです。激励を送り全面支援をしていくうではありませんか。

高知県労連・労働相談センターを多くの人たちに知らせていきましょう。高知県労連・各加盟組織の「一〇年秋の組織・組合員拡大運動を大きく前進させましょう。」



カギを解き、二重ワクに入る文字を並べ替えてできる言葉は何？
「タテのキー」①探偵はー
クロスワードパズルの〇〇を尽くす

【ヨコのキー】

①水が蒸発してりる ⑩幸〇〇、
——になる ⑥不〇〇 ⑪霊場を
馬子にも——参拝して回る ⑬
⑦歌麿、北斎、広壁に〇〇あり ⑭
重といえば ⑨寒—— 応報
い朝に〇〇が降

——をめぐらした ②〇〇の上
にも三年 ③弥生時代の前は
——時代 ④包装——の回収
⑤全車輪 ⑧主な原因 ⑨——と実益を
兼ねる ⑩派手の対語 ⑫三顧
席

クロスワードパズル

図書券プレゼント

チャレンジ

〈応募方法〉

クロスワードの答えと、機関紙の感想、組合名、郵便番号、住所、氏名、年齢を記入の上、県労連書記局宛にお送り下さい。

抽選で三名様に図書カードをプレゼントします。(ハガキ、FAX、eメール)締め切りは翌月の二十日になります。

当選者の発表！

九月号・クロスワードパズルの答えは「アキサメゼンセン」でした。当選者が抽選で決定しました。おめでとうございます。当選を逃した方もドンドン挑戦してください。

〈当選者〉

武田 麻美さん
(全司法)

熊谷 敏郎さん
(四万十町職労)



大会紹介

加盟組織で大会が開かれましたので、紹介します。

高知自治体労働組合総連合

9月24日、共済会館
委員長 筒井 敬二 書記長 杉村 浩司

全日本建設交運一般労働組合高知県本部

10月4日、福祉交流プラザ
委員長 武田 孝子 書記長 山本淳夫

県医労連第39回定期大会

10月9日、厚生年金高知リハビリテーション
委員長 細川 初志 書記長 金子竜太

自交総連高知地連第29回定期大会

10月10日、青年センター
委員長 中山 和男 書記長 横田 春吉

高南ハイヤー労組第9回定期大会

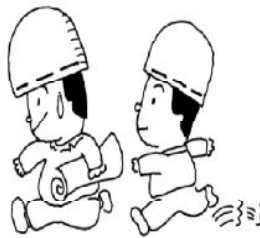
10月10日、高南ハイヤー
委員長 堀井 一則 書記長 大塚 崇

郵産労高知支部第22回定期大会

10月10日、龍馬の生まれたまち記念館
支部長 筒井 潤 書記長 田中 才至

女性部第22回定期大会

10月15日、高知城ホール
部長 林 博子 書記長 筒井 典子



二〇一〇年県労連
春闘討論集会を開催

日時 十二月四日(土) 一〇時

場所 高知城ホール二階

記念講演 『公契約運動と地域経済』

講師 斉藤寛生全労連幹事

川柳紹介

姥捨ての切符しつかり 手に入る
(幸泉)

検事さん 敵弁護士の世話になり
(かさくま)

五年経ち 国調の日に 失業者
(源朝光)

時事川柳を募集

風刺をきかせた川柳をお寄せ下さい。

万一の病気・不慮の事故にそなえて

医療共済

1か月わずか
1,000円の
(10口分)
掛金で

充実の保障

全労連共済

お申し込み・お問い合わせは各共済会へ